

# 平成30年度 福島県保険者協会医療費調査部会事業報告【概要版】

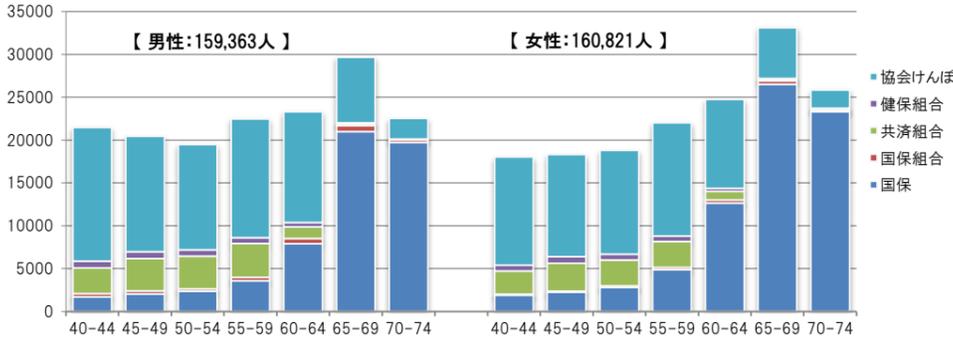
平成26年3月に健保法、国保法に基づく保健事業実施指針が一部改正され、高確法に基づく保健事業実施指針が新たに示されました。それらの指針の全てに、データヘルス計画の策定が記され、国民の健康の保持増進に向けてデータに基づく効率的効果的な保健事業の実施が全ての医療保険者に求められています。特に、我が国では生活習慣病による死亡率が年々増加し生活習慣病予防対策が喫緊の課題となっています。40歳以上の県民が受診する特定健診データおよび75歳以上（65歳～74歳の一定の障害があると認定された者を含む）の県民が受診する後期高齢者健診は、県民の健康づくり、生活習慣病予防対策を行う上で非常に重要なデータです。

今年度、福島県保険者協会では、県内15医療保険者のうち14医療保険者の健診データの集約分析を行い資料化いたしました。本資料を県民の健康施策の基礎資料として広くご活用いただければ幸いです。

## I. 特定健診結果の概要

本報告は、平成29年度特定健診データ提供に同意頂いた国保（市町村国保・国保組合）、共済組合、健保組合、協会けんぽのデータを分析しました。提供いただいたデータすべてを分析の対象としました。

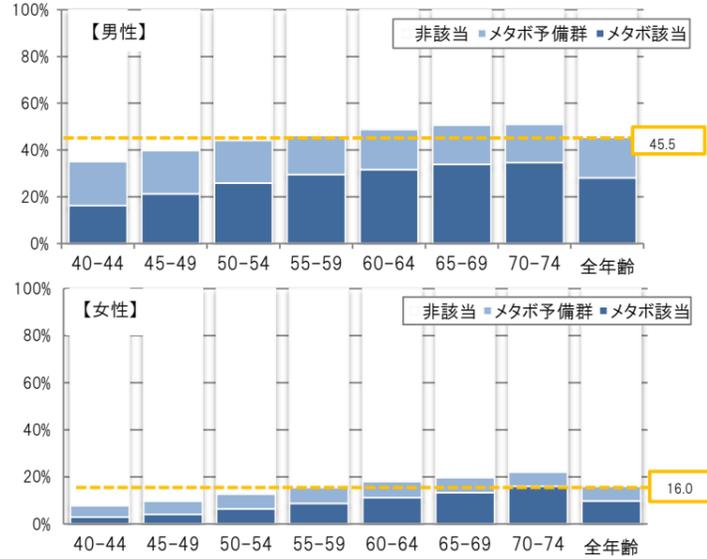
### (1) 分析対象の状況



平成29年度は**320,184人**の特定健診データを分析対象としました。

	男性	女性	男女計(%)
40-44歳	21467	18027	39,494 12.3%
45-49歳	20432	18312	38,744 12.1%
50-54歳	19469	18789	38,258 11.9%
55-59歳	22472	22005	44,477 13.9%
60-64歳	23308	24747	48,055 15%
65-69歳	29670	33098	62,768 19.6%
70-74歳	22545	25843	48,388 15.1%
合計	159,363	160,821	320,184 100%

### (2) メタボリックシンドローム該当者及び予備群の状況



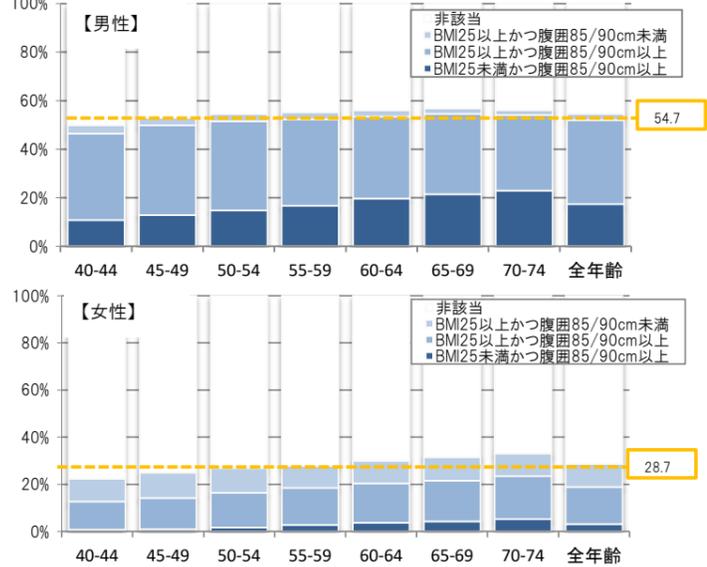
**福島県男性の45%が「メタボ・メタボ予備群」**

メタボ・メタボ予備群は男女共に年齢と共に割合は高くなっていますが、男性がメタボ・メタボ予備群該当割合45.5%と、女性に比べて圧倒的に割合が多い状況です。

男女ともに、相双、いわき地区のメタボ該当者割合が高い状況です。

※厚労省HPより、福島県はH27メタボ・メタボ予備群該当者率29.6%で、沖縄県の32.1%に次いで全国ワースト第2位です。

### (3) 肥満者の状況



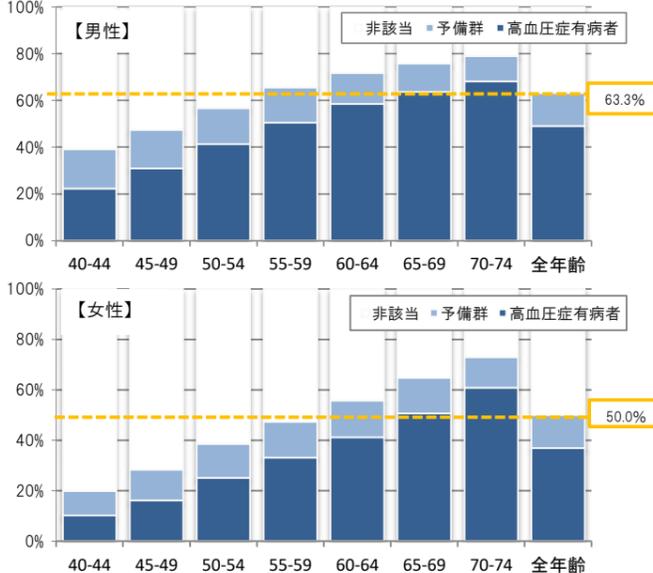
**福島県男性の半数以上が「肥満」**

男性は、ほぼ全年代で**2人に1人が肥満**の傾向にあります。若い世代ではBMIおよび腹囲の両方で基準値以上の肥満が多い傾向があるが、加齢により減少し、一方、腹囲肥満は加齢により該当割合が増加しています。

女性は約3人に1人が肥満者の傾向にあります。男性と異なり腹囲よりBMI肥満の割合が高いのが特徴といえます。

男性では相双・いわき地区が、女性では相双地区の女性の肥満者割合が高い状況

### (4) 高血圧症有病者等の状況

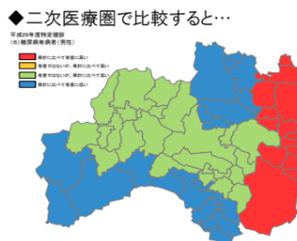
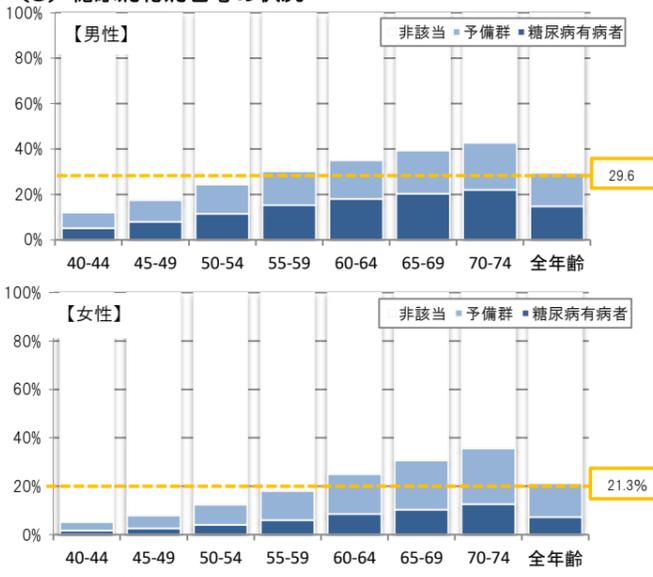


**男性の60%以上が「高血圧症・予備群」**

男女共、有病者及び予備群は加齢とともに増加の傾向がみられます。特に男性は40歳代の若い世代で有病者・予備群が40%程度となっています。

男女ともに、相双、会津、南会津地区の高血圧症有病者割合が高い状況です。

### (5) 糖尿病有病者等の状況

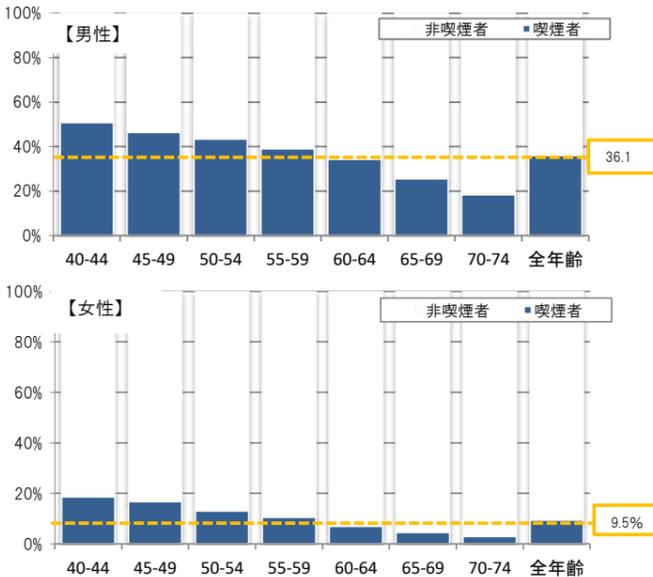


**男性の30%程度が「糖尿病・予備群」**

糖尿病有病者及び予備群割合は加齢とともに男女とも増加傾向にあります。60歳以降の男性の5人に1人が糖尿病有病者となっています。

男女ともに、相双・いわき地区の糖尿病有病者割合が高い状況です。

### (6) 習慣的喫煙者の状況



**40歳代男性の約2人に1人が「習慣的喫煙者」**

男女共に若年層の割合が高く、加齢とともに減少傾向となっています。男性は2人に1人、女性は5人に1人が習慣的喫煙者です。

男女共に、東北地区が他地域に比べ、習慣的喫煙者の割合が低い状況がみられます。

平成28年度国民健康・栄養調査において福島県の習慣的喫煙者の割合は、全国ワースト第4位です。

※1 標準化該当比 受診者の性年齢構成が二次医療圏ごとに異なるのを補正する目的で標準化死亡比(SMR)の計算方法に準じて算出した。また、二次医療圏と基準である福島県計との差が偶然であるか否かを示すためにポアソン分布を仮定した検定を行った。

■ 県計に比べ有意に高い ■ 有意ではないが、県計に比べ高い ■ 有意ではないが、県計に比べ低い ■ 県計に比べ有意に低い